

おがまち日奈久ニュース

敬老会

おめでとうございませ
市長より祝辞届く

中村博生八代市長、矢上雅義衆議
院議員、金子恭之衆議院議員、松村
祥史参議院議員から祝辞が届きまし
た。全ての原文は、日奈久コミセン
の掲示板に掲示されています。ご覧

祝 辞

本日、「敬老の日」を迎えられた皆様方に、心からお祝い申し上げます。
「敬老の日」は、長年にわたり社会に尽くしてこられた皆様に敬意と、長寿をお祝いする日でございます。そして同時に、この平和で安全な社会を次世代へ繋いでいくことを今一度考える、大切な日でもあると考えております。

皆様が進んでこられました、これまでの人生に想いを馳せますと、今の時代では想像も及ばないご苦労があられたことと存じます。
皆様のたゆまない努力と精神力で、それらを乗り越えてこられ、時代を動かすとともに本市の歴史を創り上げられ、今日があることに心から感謝する次第でございます。

例年ですと、この時期、市内各地で敬老会式典が盛大に開催され、私どもも直接皆様にお会いし、お祝いを述べさせていただいているところですが、本年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に加え、甚大な被害をもたらした7月の豪雨災害への対応、その復興対策など、近年稀にみる容易な課題に直面しております。

これらの課題解決に尽力するとともに、これまでと同様に「地域包括ケアシステム」の推進や、高齢者の生きがいづくりに向けた体制整備などに取り組む、皆様が今後も住み慣れた地域で生き生きと安心して暮らせるまちづくりを進めて参りたいと考えております。

九月に入り、昼夜の寒暖の差が大きい日も多くなってまいりました。皆様方におかれましては、どうぞ健康にご留意されますとともに、未永く長寿を重ねられ、これからは八代市の発展にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

次回の敬老会では、皆様の元気なお姿にお会いできることを心からご祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

令和二年九月二十一日

八代市長 中村博生



お祝いの品の仕分けに汗を流す婦人

ください。

今年度の敬老会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、式典は中止となりました。敬老会対象の方々には、お祝いの品（住民自治会費と市からの補助金で準備された品物）及びお祝いの手紙が、届けられることになりました。

9月21日の敬老の日を控えた9月18日（金）と19日（土）に婦人会の会員が、日奈久ゆめ倉庫に集合して、お祝いの品の準備をしました。各町内婦人会担当者が、対象のご家庭を一軒ずつ訪問して届けました。

令和2年10月号
（第134号）
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
（8月末現在）
男 1157人
女 1415人
計 2572人
（前月比-8人）
（2009年末3444人）

「ありがとう」が
行き交うまち 日奈久
身近な人に「ありがとう」
愛する日奈久に「ありがとう」
訪れる人に「ありがとう」

台風10号襲来

「備えあれば憂いなし」
自主避難で
命を守りましょう

9月7日に到来した台風10号は、「今までに経験をしたことがない台風」との報道に、大きな不安を抱えられた人が多かったことでしょう。事前に対策を取り、多くの人が自主的に避難をされました。

当初避難所は、日奈久コミセンと日奈久小学校体育館でしたが、コロナウイルス感染防止の観点から、収容できる人数が減りました。そこで、里木校区長が市役所に連絡し、大坪町のみずほ保育園も自主避難所となりました。避難された人数は、日奈久コミセンが40人、日奈久小学校体育館が85人、みずほ保育園が47人、合計172人でした。



日奈久小体育館でも十分な間隔を取りながら避難をしました

10月の行事から

14日(水)～16日(金)
大明神秋季例大祭
(神事のみ)

【住民自治会関係会議等】
13日(火) 市政協力員例会
16日(金) 運営委員会
19日(月) 広報部会

住民自治会運営委から

9月15日(火)開催の運営委員会から、記事として扱っていない主な事項についてお伝えします。

- 町内連絡委員会
- ・本年度の総合防災訓練は中止。
- 福祉健康人権委員会
- ・宮地のボランティアセンターは9月18日で終了し、坂本支所の近くで開設。日奈久婦人会は延べ53名がボランティアセンターで活動。
- 事務局
- ・避難所となった小学校の外トイレに洋式トイレを設置することになり、10月末までに完成する予定。

婦人会だより

「中学校除草作業に参加して」
新田町 北園白百合

8月23日(日)晴天のもと、中学校校庭除草作業に婦人会からも23名が参加しました。中学生とともに午前7時から8時までの作業でしたが、大きく伸びた雑草も皆さんの力で刈り取られ、とてもすっきりとなりました。生徒さん達は、慣れない手つきで汗を流しながら、大きな木の枝を剪定していました。その姿に、何でも一生懸命挑戦する子ども達だと感動しました。最後に校長先生、PTA会長さんから温かい感謝の言葉をいただきました。暑い中でしたが、地域行事に参加することができて良かったと思っています。

日奈久歴史探訪 城主の争いの結末

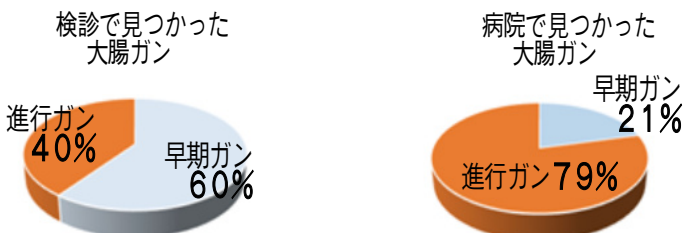
今から550年ほど前の出来事です。日奈久には地図のように目と鼻の先に二つの山城がありました。田の川内城主は八代荘名和氏家臣の園田伊豆守、千代永城主は芦北荘相良氏家臣桑原能登守で、かねてから勢力争いをして不仲でした。文明4年(1472)3月、園田伊豆守は夜中に千代永城を取り巻いて攻めましたが、能登守に長槍で討たれてしまい、家来たちも皆敗走してしまいました。これをチャンスに能登守は田の川内城を攻め落とそうと槍を持ち馬を走らせました。ところが、伊豆守の家臣専左衛門がこれを知り、麦畑に隠れて待ち伏せし、たった一発の弓矢で射落とすと逃走しました。駆けつけた能登守の家臣達は殿の遺体を前に

※本文は市文化振興課のご協力による「肥後国誌の意識と、中原文敬著「日奈久の歴史」を参考にしました。

ひれ伏して、12人が切腹、能登守の妻子も自害しました。こんな訳で両城とも廃城となってしまいました。その後、いつの頃からかわかりませんが、阿蘇家臣の草壁文右衛門が田の川内城主となったことです。草壁の子孫は日奈久の寺の住職になられたそうです。



- ◆ 検診期間 12月1日(火)～2月末日
- ◆ 内 容 便潜血検査2日法
- ◆ 対 象 40歳(年度内到達年齢)以上の市民
- *今年度すでに八代市の大腸がん検診を受けられた方は郵送検診は受けられません
- ◆ 検診費用 600円(払込書によりコンビニ等で支払い)
- ◆ 申込期間 9月1日(火)～10月30日(金)(電話で申し込み)
- ◆ そ の 他 申込者には検査セットを郵送
- ◆ 申 込 み 八代市保健センター ☎ 32-7200



厚生労働省「大腸がん集団検診の組織化に関する研究」

郵送による大腸ガン検診始まる(今年度から) 自宅で検体を採取、ポストに入れてOK!

今年度から郵送による大腸がん検診を始めます。
自宅で簡単に検体を採取してポストに入れて受けられる大腸がん検診です。早期の大腸がんは自覚症状が無いことが多いため、定期的に検診を受けることが大切です。忙しくて検診に行けない方、この機会にぜひ受けましょう。

本年度の寄付物品が決定し、9月18日にその物品の目録贈呈式が、日奈久コミュニティセンターで行われました。
JRAからは近藤和明所長と鴨澤桜花副所長が来られ、近藤所長から今田住民自治会長に目録を手渡されました。なおJRAからは、各種イベントや祭りの開催に対しても寄付金をいただいております。ありがとうございました。



JRAの近藤所長から寄付物品の目録を受け取る今田住民自治会長 背後にあるのが寄付物品

JRAからの 寄付物品目録贈呈式

「開催できて良かったです！」日奈久小中合同運動会 小中合同スローガン 「Next Stage」に向けて輝いた子ども達

雨のために1日延期されて9月13日（日）に開催されました。今年は、午前中の開催となりました。また、コロナウイルス感染拡大防止に向けて配慮されていました。

今年の運動会のテーマは、「Next Stage」（ネクストステージ）の（イメージの意味）で、それぞれが頑張つて、新しい段階に進もうという思いが込められていました。



開式の言葉を述べた1年岡山りんとう君、今井あいかさん、2年黒木けんしん君、西村みつなさん

開式の言葉では、代表児童が、「今日は楽しみにしていた運動会です。今日まで練習を一生懸命がんばってきました。ぼくは玉転がしで友だちと一緒にゴールを目指します。わたしはかけっこで最後まで走り続けます。応援よろしくお願ひします。」と元気に宣言しました。

小学校の中村道恵校長先生は、「よう

やく運動会の日を迎えられたことを大変喜んでいました。今年は大変厳しい条件のもとでの練習でした。一人一人の努力と互いの協力で、ネクストステージ目指して練習してきました。今日は自信を持って精一杯練習の成果を発揮してください。そして、ここに集まる全ての皆さんの心が一つになり、この運動会が素晴らしいネクストステージになることを願っています。」と温かく励まされました。



気持ちを揃えて上手に運んだ大王



一人が精一杯練習の成果を出そうとするひたむきな姿が、とても印象的な運動会となりました。優勝は、



全校生徒をリードしてきた6年生のダンス

小学校は赤団。中学校は白団でした。児童生徒感想では、6年の森下たくみ君が、「ぼくは、競技に全力で取り組むことができました。3週間、練習に取り組んできて、本番を迎えることができ、最高の思い出にすることができました。」とやり遂げたという自信に満ちた発表をしました。

また、中学生代表の3年浅川真緒さんが、「朝早くから夕方遅くまで練習する中で、応援演舞が一番に残りました。今年も赤白合同で演舞を作りました。最初はうまくいかなかったけど、本番が近づくと、3年生を中心に団員の士気が上がっていききました。今日は素晴らしい応援演舞ができたと思います。本当に



全生徒の気持ちが一つになった素晴らしい演舞

運動会が開催できてよかったと思います。」と達成感と感謝の気持ちがこもった発表をしました。

講評では、中学校の中村恭介校長先生が、「今年は、新型コロナウイルスの影響で、いつも通りに実施することができませんでした。しかしそんな中でも、児童生徒の皆さん、限られた時間の中で自分たちに出来る事を考え、各種目に全力で取り組む姿が見られました。特に、小学校のダンス、中学校の演舞は、創意工夫のある素晴らしい表現活動となりました。まさにスローガンであるネクストステージの形となって、新たな歴史を築き上げたと感じています。」と子ども達に語られました。

「夢は社会に役立つ機械やロボットを作ること」 高専ハカセ塾に参加

日奈久小6年 山下晴生君（大坪町）

はるせ



「高専ハカセ塾」とは、有明高専、熊本高専、久留米高専の合同企画で、九州中部の小・中学生を対象に、次世代の科学技術を担う人材の発掘・育成プログラムです。国立研究開発法人科学技術振興機構「ジュニアドクター育成プログラム」の採択事業です。

山下晴生君は、学校でロボット関係の本を読んでいて、プログラミングについて書いてあったことに興味を持ちました。ロボット製作にも関心があり、将来は、熊本高専ハカセ塾で学びたいという気持ちもあって応募し、11人のうちの一人に選ばれました。（22人応募）

8月8日に開校式があり、3回目まではコロナウイルス感染症予防のため、リモートでの参加でしたが、4回目（9月19日）からは、ハカセ塾でいろいろな実験や講義が行われています。

また、各自テーマを決めて研究することになっており、山下君は、「いろいろな土は、どれくらい水を吸収するのか」というテーマで、研究することになっています。このテーマを考えたのは、学校生活をしている中で、花壇の土に雨水が吸収されるのを見て、考えたそうです。日頃から算数や理科が大好きで、自然や機械に関心があったことが影響し

ているのでしょう。

これまで、実験の方法や計画を考えてノートに丁寧にまとめてきました。これから実際に実験や観察を繰り返して、レポートにまとめて発表することになるそうです。その間、高専の先生から助言や指導を受けて、自分のテーマに取り組んでいくことになるそうです。2月6日まで14回開催されます。

将来は、社会に役立つ機械やロボットを作りたいと笑顔で語ってくれました。

私の健康法 早歩きとゆっくい

塩南町の小副川健一さん（71）は独特な歩き方で健康増進の効果を上げておられます。それは準備運動をした後「ゆっく歩き3分、早歩き3分の繰り返し」を5回、一日おきに歩くというものです。



小副川健一さん

5月中旬から始められたそうです。が、体調良好と実感できる効果が現れたそうです。

①オシッコの間隔が長くなった。
②体重が3kgほど軽くなった。
③中性脂肪値が48と半減した。
④血圧が下がった。
⑤疲れを感じなくなった。

早歩きは「ハハ」と息が苦しくなるくらいで、3分後は「いや」になるくらい。終わったときはかなりの汗をかくそうです。

※「私の健康法」を実践されている方がおられましたら、日奈久コミセンにご連絡ください。

代替バスで運行 肥薩おれんじ鉄道

令和2年7月豪雨で佐敷トンネル周辺が土砂で埋まり、未だに復旧できていないため、7月20日から代替バスで運行されています。

8月8日からは、佐敷駅から出水駅が開通しました。八代駅から佐敷駅までの区間で、平日で下り6本、上り9本で運行されています。（土休日は上下線とも3本）

神園交通、火の国観光、芦北バスの3社のバスで運行されています。始発は下りが6時31分、上りは6時34分と早いですが、高校生が三密を避ける為に時間調整して乗車しています。駅のスタッフも早朝対応し、温かい声掛けをしておられます。

ようこそお願いします



シルバー人材センター 竹林茂晴さん

本年9月より日奈久コミセン担当になり、夜間の対応をしています。新田町の竹林と申します。皆様にご案内したいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。



優勝は、小学校が赤団、中学校が白団

（広告欄）